

質 疑

検証調査の実施案について

○小塩隆士会長（一橋大学経済研究所教授）

それでは、ただいまの説明につきまして、ご質問等がございましたら、よろしくお願いいたします。長島委員、お願いいたします。

○長島公之委員（日本医師会常任理事）

ありがとうございます。先日も申し上げましたが、今回改定は従来より広範囲であることから、答申書の附帯意見が前回、前々回の 20 項目と比べ、28 項目と大幅に増えております。

改定の施行が2カ月後ろ倒しになりましたが、諮問、答申、告示のスケジュールは変更がないことから、検証を行うための時間が従来より短くなるため、調査・検証は効率よく行う必要があります。

日程や検討スケジュールなど、柔軟に対応すべきと考えます。私からは以上です。

○小塩隆士会長（一橋大学経済研究所教授）

はい、ありがとうございました。ほかはいかがでしょう。はい、松本委員、お願いいたします。

○松本真人委員（健康保険組合連合会理事）

はい、ありがとうございます。特別調査の枠組みにつきましては、今、永瀬部長から説明がありましたご提案に特に異論はございませんので、よろしくお願いいたします。以上でございます。

○小塩隆士会長（一橋大学経済研究所教授）

はい、ありがとうございます。ほかはよろしいでしょうか。はい、池端委員、お願いいたします。

○池端幸彦委員（日本慢性期医療協会副会長）

はい、ありがとうございます。私も特に特別調査の状況については異存はありませんけど、1点だけ意見させていただきたいのは、8ページの「後発医薬品の使用促進策の影響及び実施状況調査」ということで、題名はこうなっておりますが、いまだに、やはり後発品の供給状況が不安定なのが続いております。

（別紙4）

※令和6年度・令和7年度調査

（4）後発医薬品の使用促進策の影響及び実施状況調査（案）

1. 調査の目的

本調査では、令和6年度診療報酬改定を受けたバイオ後続品を含む後発医薬品の使用促進策や長期収載品の保険給付の見直しにより、保険薬局における一般名処方の記載された処方箋の受付状況、後発医薬品の調剤状況や備蓄状況、保険医療機関における一般名処方の実施状況、後発医薬品の使用状況や医師の処方などについて、医薬品の供給状況等の環境の変化も加味し、どのように変化したかを調査・検証するとともに、医師、歯科医師、薬剤師及び患者の後発医薬品に対する意識について調査・検証を行う。

この目的の中には、「医薬品の供給状況等の環境の変化も加味し」とありますので、ぜひ、この供給状況がどう移っているのか、改善してるのか、してないのか、ここと促進策との関連が非常に重要だと思いますので、これが少しわかるような調査項目をぜひご検討いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

○小塩隆士会長（一橋大学経済研究所教授）

はい、ありがとうございます。ほかはよろしいでしょうか。

はい。それでは、特にほかにはご質問ないようですので本件につきましては、中医協として承認するということではよろしいでしょうか。

ありがとうございます。それでは、説明のあった件につきましては、中医協として承認したいと思います。